

## 2年生「職場体験学習」を終えて

2年生生徒が47の事業所に分かれて、7月3日(月)から7日(金)の5日間、職場体験学習をしました。事業所の皆様には業務ご多用の中、温かく丁寧なご指導をいただき誠にありがとうございました。どの事業所でも生徒の皆さんは真剣そのもの、学校とはまた違う実社会において適度な緊張感のもと、大人の人たちの働く姿に直接ふれたり、自分自身が考えながら仕事に取り組んだりしながら、「働くこと」について考える一週間となりました。

職場体験を終えて気づいたことや行動で変わったことはどんなことでしょうか・・・(アンケートより)

- ★仕事は大変なことばかりだと思っていたけど、達成感や楽しみもあることに気付けた。
- ★いろいろな人に気配りすることができたり、あいさつがたくさんできるようになった。
- ★自分から行動するようになった。
- ★自分の親が仕事をしていて、こんなに大変なんだと思った。
- ★みんなが見えないところでも、がんばるようになった。
- ★周りを見て行動するようになった。
- ★自分からわからないことを聞くようになった。
- ★もっと勉強をがんばろうと思った。
- ★自分にきびしくなった。



## 1年生「琵琶湖体験学習」を通して

6月8日(木)、1年生生徒が「琵琶湖環境体験学習」を、大津市の民間教育支援施設「オーパル」で行いました。天候にも恵まれ、①カヌーでヨシ帯観察 ②ヨシ紙を使った笛づくり ③釣りをとおしての外来魚調べ ④ドラゴンボート体験 の4つの学習活動をしました。

体験後には、学んだことを各グループで壁新聞にわかりやすくまとめることができました。その一部を紹介します。

外来魚調べをして、外来魚は減ってきているけど、固有種も減ってきているということがわかり、私たちにできることはないかと改めて気づくことができるいい体験になりました。



カヌーでは普段見えない一番上の方や水の中など間近でヨシ帯の観察ができて楽しかったです。水の中ではしっかり支えられるように太くなっていたり、ヨシのつくりを知れました。

私はヨシ笛をつくって、枯れたヨシを刈ることはヨシの成長を助けることになることにびっくりしました。そして、ヨシは琵琶湖をきれいにしてくれることを知って、ヨシに興味を持つことができました。

ドラゴンボートで負けてしまったけど、みんなで息を合わせることが出来ました。太鼓の音に声を合わせるほど、スピードが上がったりしてとても楽しかったです。



# 人間関係、礼儀、あきらめないことの大切さ

7月2日(土)、アミカホールで、草津市青少年の主張発表大会が行われました。

大会では、市内中学校7校と高校1校の代表者が日頃感じていることなど身近なことをテーマに発表を行いました。どの発表も聴衆に感動を与えるすばらしい内容でした。

本校からは、2年生大西未藍さんが、堂々と発表をしました。そこで、その発表内容を紹介します。



## 部活動から学ぶこと

私は中学校でバレーボール部に入っています。私は日々の部活動から、色々なことを考え、学んでいます。私が学んできたことの中で、特に大切だと思うことが三つあります。

一つ目は、人間関係です。先輩・後輩の在り方や、チームワークの築き方などを、私は先輩から学んできました。中学生になって、上下関係を意識することは当たり前になり、私は最初、先輩とどう接すれば良いのかわかりませんでした。それは、先輩たちに悪く思われたくないという気持ちがあったからです。しかし、先輩たちはいつも優しく接してくださり、その姿は堂々としていて、私は自然と尊敬するようになりました。私も二年生になって後輩ができたので、自分が感じたような上級生の「先輩らしさ」を、後輩にも感じてもらえるようになりたいです。そのために、自分の姿は常に見られているのだという責任感と、自信を持って行動しようと思います。

チームワークの面でも、私は先輩を尊敬しています。先輩たちは、互いを認め合い、とても団結されているように見えます。普段の練習や試合を見ていると、それは、いつも励まし合い、プレイ以外でのコミュニケーションも大切にされているからだと思います。先輩が引退し、私たちが新しいチームをつくる時、そんな団結したチームをつくれるようにチームメイトともしっかりと仲を深めて、信頼関係を築きたいです。部活動以外でも会話をするようにしたり、全員で同じ目標を決めたりするなど、どうすればチームワークを高めることができるのかを考えて、実行していこうと思います。

二つ目は、礼儀です。中学生として自覚のある行動をし、常に「考えて動く」ことが私の学校の校訓なので、私は学校生活でも部活動でも、それを心がけています。中でも私が一番大切にしているのは、あいさつです。部活動の練習や、他校に試合をしに行く時に、何よりも始めにするのがあいさつです。誰にでも元気良く、気持ちの良いあいさつをして、チームに好印象を持ってもらえることは、とても嬉しいことだと思います。

私が一年生の頃、顧問の先生が、「あいさつはバレーボールをする上でも大切なことで、誰にでも元気の良いあいさつができるチームが強くなれるチームだ。」とおっしゃっていたのを今でも覚えています。私はその言葉を心に留めて、前よりも自分からすすんであいさつができるようになりました。私は特に、「ありがとうございます」などの感謝の言葉をたくさん言えるようになりました。これからは後輩にも積極的にあいさつをし、自分が手本となってその大切さを教えられようになりたいです。

三つ目は、諦めないことの大切さです。バレーボールは「粘り」が大切なスポーツだと思います。それは、「絶対にボールを落とさない」という強い気持ちがなければ試合に勝つことができないからです。先輩たちが、どんな状況でも諦めずに頑張る姿を見ていると、私はいつもそう感じます。練習中によく、キャプテンが私たちに、「最後まで!」という言葉をかけてくれます。そんな時、私は諦めないことはとても大切なことなのだと思い直します。私も先輩たちのように、必死にボールを追うことができるようになりたいです。

今、私が部活動から学んでいる多くのことは、今後の自分の人生にも大きく生かせることだと思います。上下関係を意識したり、あいさつや感謝の気持ちが言えるようになるなど、私は部活動をしていて、以前よりも成長できたと感じています。私はこれからもたくさんの方の事を学びながら部活動に励みたいです。そして、諦めない心を持ち、いつかその成果をチームの仲間と味わうことができるように、精一杯頑張りたいです。